

第6回 松戸市庁舎整備検討委員会 議事録

1 開催日時

令和4年8月19日(金)

14時00分から14時50分まで

2 開催場所

オンライン会議

3 出席者等

【委員：11名】

伊藤 正次 副委員長
池澤 龍三 委員
武石 恵美子 委員
藤村 龍至 委員
石田 尚美 委員
入江 和彦 委員
高橋 俊夫 委員
椎橋 孝幸 委員
山口 桂明 委員
関 聡 委員(総務部長)
大塚 滋 委員(財務部長)

【事務局(関係職員)】

総務部 審議監
オフィス・サービス創造課 課長
他4名

【傍聴者：18名】

※うち市議会議員5名、報道関係6名

【欠席委員：3名】

柳澤 要 委員長
指田 朝久 委員
藤本 利昭 委員

4 次第

- (1) 開会
- (2) 定数報告及び議題等について
- (3) 公開・非公開、撮影の許可の確認
- (4) 議題1：「第1回から第5回のとりまとめについて」
- (5) その他
- (6) 閉会

5 議事

(1) 開会

(2) 定数報告及び議題等について

- 委員 14 名のうち 11 名出席。
委員の過半数が出席しており、本委員会が成立することを確認。
- 前回委員会同様、議事録への署名者は入江委員、椎橋委員の 2 名となった。

(3) 公開・非公開、撮影の許可の確認

- 本日の委員会は公開となった。
- 傍聴及び委員会冒頭の撮影が許可された。

(4) 議題 1：「第 1 回から第 5 回のとりまとめについて」

- 中間答申の案について、事務局より説明。

(委員) • 中間答申の案は概ね問題なし。
• II-1(1)③「誰一人取り残さない」「安全、安心」なサービスの実現へ」という表現はやや抽象的なので、意味がよく通じるよう検討いただきたい。

(委員) • 中間答申の案には、これまでの委員会で議論されたことがほぼ全て反映されていると思った。
• 中間答申書(案)に表現することは難しいと思うが、ゆとりのある場所や憩いの場所があり、市民から必要とされるシンボリックな市庁舎を目指していただきたい。また、職員の働き方に関しては、コロナ禍での経験を検討に活かしていただきたい。

(委員) • 中間答申の案は概ね問題なし。
• これまでの委員会では、「地域経済の活性化やまちづくり」の視点からの検討が少なかった。事業者から松戸で商売がしたいと思ってもらえるようなまちになるとよい。
• 市庁舎の場所については、市長からの諮問事項には入っていないが、市のシンボルとなる市庁舎は、建設に係る時間的な面も考慮して、新拠点ゾーンでの移転・建て替えが適切だと、いまは考えている。松戸の地ぐらいがより高くなるような市庁舎の整備、まちづくりをお願いしたい。

(委員) • 中間答申の案は概ね問題なし。
• 防災拠点に関して、避難所に関して、1 点提案。猛暑による避難所での二次災害を避けるために、空調に関しては、独立した燃料で動かせるような設備の検討をお願いしたい。

(委員) • 中間答申の案は概ね問題なし。
• デジタル化が進む中で、市の縦割り行政が改善されていくとよい。

- (委員) • II-(4)庁舎面積について、面積を低減していくという表現の説明が少し弱い印象がある。デジタル化による業務削減、フリーアドレスによる席数削減などの職員の働き方の部分と、本庁と支所の業務の見直しの部分とを並列して記載するとわかりやすい。
- 新庁舎ができるまでの間のデジタル化の進む速さは、全く読めないというか、ものすごい勢いで進んでいくと思います。行政サービスのあり方や職員の働き方は、おそらく、これから1、2年の間ですごい急ピッチで大きく変革する可能性があり、刻々と変化する状況を捉えながら、今後の議論を進める必要があつて、そういう不確実性のなかでの議論をしているということですので。状況によってこれが変わりうるものだということを前提にした議論であつてほしいと思います。
- (委員) • 中間答申の案については異論なし。
- II-2(4)庁舎面積については、最終答申に向けた今後の議論において中心となる議題の1つと考えている。松戸市公共施設再編整備推進審議会での議論の内容を思い起こしますと、本庁舎については、デジタル化や窓口業務の見直しを含め、どれだけコンパクト化できるかを真剣に考えていけるとよい。
- 業務を、現場のほうで積み上げていく調査などもありつつ、全体として目標みたいなものを定めていくという議論も必要だと思っている。コロナ禍のなかで、民間企業が、オフィスの面積を半分にしたとか、いろいろ先進的な取り組みなどがあるなかで、松戸市庁舎のような施設が、本庁舎がどういうふうに数値を定めるのか。例えばですけれども、8割くらいに減らしていただくとか、そういう目標みたいなものを定めて、そのためにはどうしたらいいかというように、具体的な議論に繋がっていくよう、後半戦でご検討いただけたらと思います。
- (委員) • 中間答申の案では、ある程度の方向性が示せていると思うので、今後は具体的な議論が進んでいくと思っています。
- 施設の活用や面積については、これまでの委員会でも様々な可能性が提示されてきた。今後提示される資料を基に、より深い検討をしていく必要があると思っています。
- (委員) • 各委員より中間答申(案)について、ご意見をいただき、ご了解をいただいたと理解しました。
- 事務局で意見を整理し取りまとめいただきたい。
- (事務局) • 委員長、副委員長と協議させていただいたうえで、中間答申書(案)について、必要な加筆・修正を行い、委員の皆様にご確認をしていただきたい。
- (委員) • 中間答申書(案)の修正方法等の進め方について了解。9月上旬を目途に中間答申書が取りまとめるよう、調整をお願いしたい。

(5) その他

- 8月3日に開催された、松戸市議会の公共施設再編検討特別委員会での主な内容について、事務局から報告し委員へ共有した。
- 次回委員会の日程・議題は別途委員長と協議のうえ決定する。開催方法はオンラインの予定。

(6) 閉会

以上